
中間支援施設における支援

平成29年5月31日
株式会社ヒューマンハーバー
取締役 副社長
高山 敦

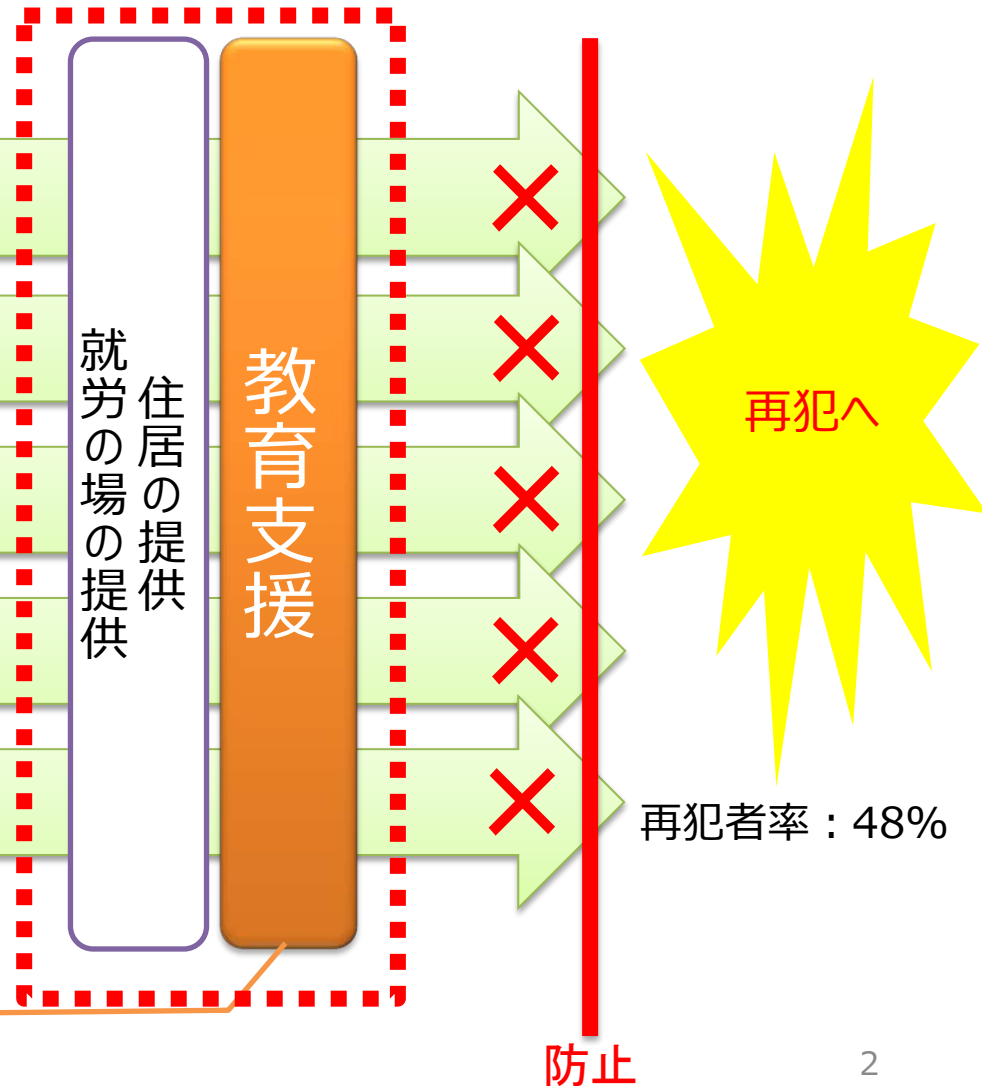
1. 実施状況

再犯抑止には、就労の場の提供や住居の提供だけではなく、仮出所後の就労定着を確実に実現する為の、教育支援が不可欠だと考えます。

就労が安定継続できない問題点

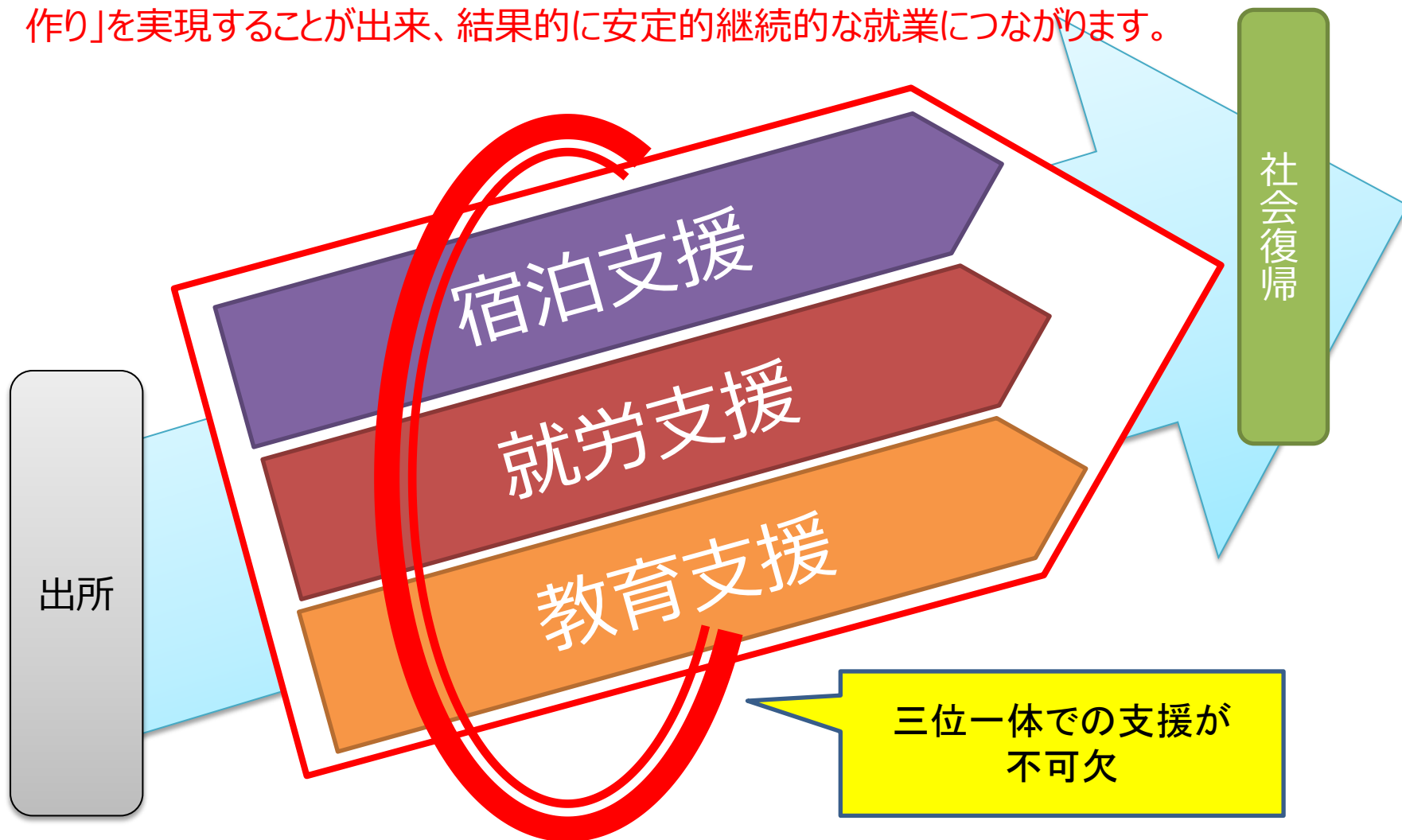
- ①人間関係、金銭トラブル等によるストレス対応処理ができない
- ②他者からの指導助言を受け入れきれない。
- ③将来の見通しを持ってない。
- ④課題に対して多様な解決策を考え出し、実行することができない
- ⑤感情のコントロールができない

ものの見方・価値観を「自ら」変えることが出来るようになる教育



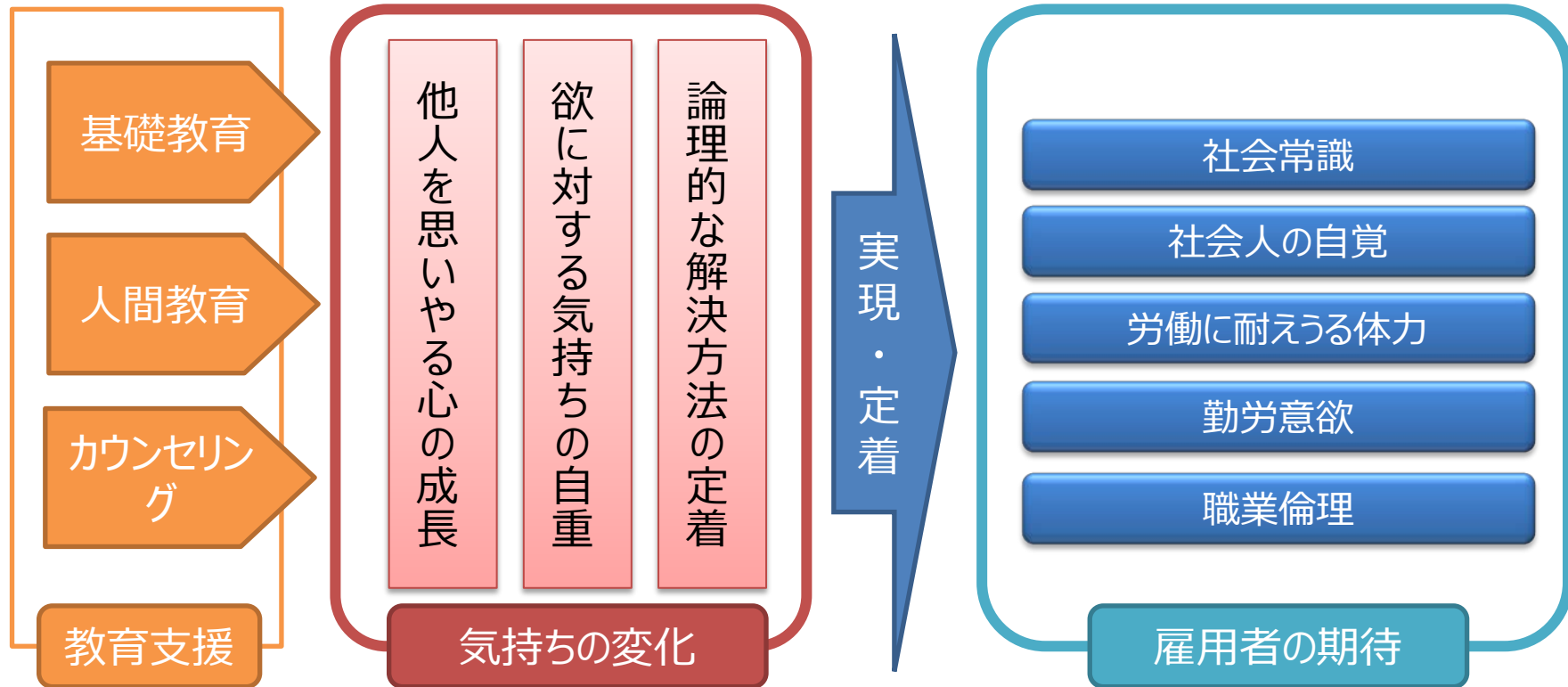
2. 教育支援について

三位一体の支援を行うことで、対象者は「食べていける」生活の安定化と、「自分の居場所作り」を実現することが出来、結果的に安定的継続的な就業につながります。



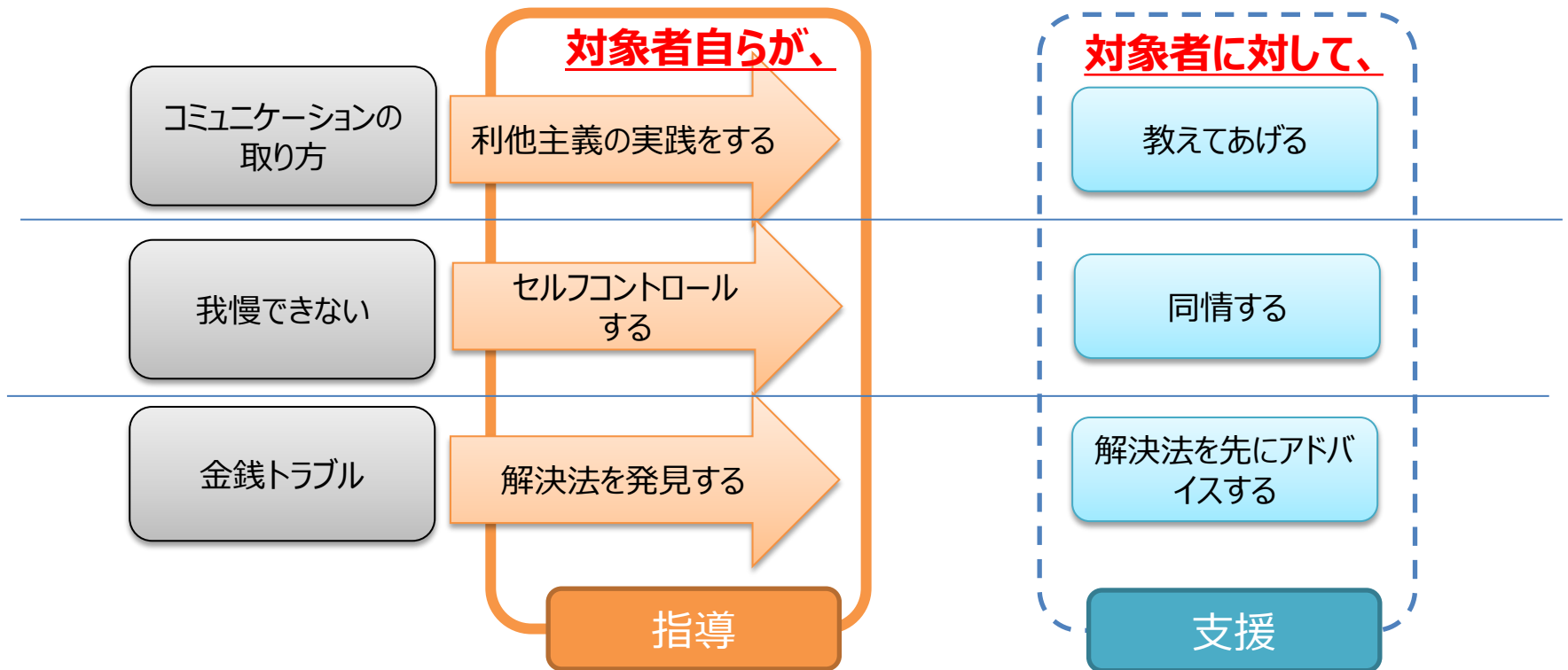
2. 教育支援について

雇用主が期待する問題は、就労支援だけでは解決が難しく、基礎教育や人間教育を踏まえた教育支援が必要だと考えます。



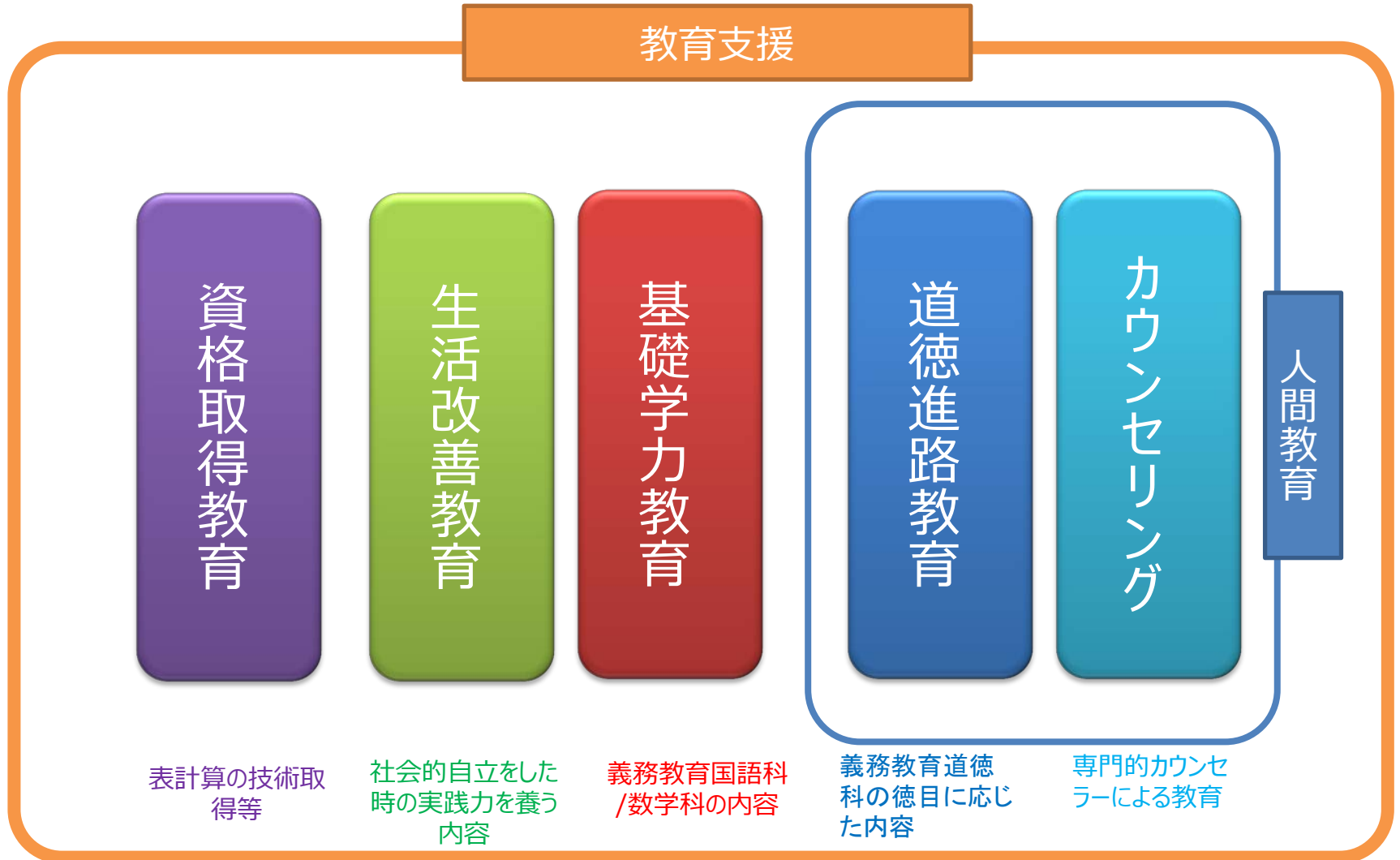
2. 教育支援について

教育支援においては、同じ問題点があっても「指導」と「支援」では全く解決アプローチが異なります。



3. カリキュラム例

教育支援事業の各分野に対する対応科目は以下の通りです



3. カリキュラム例

国語

- ・表現力、語彙力の向上を図り、共感力やコミュニケーション能力を高め、社会生活のスムーズな移行を狙いとする。
- ・「話す・聞く」「書く」「言葉」の3領域に絞って学習を進める



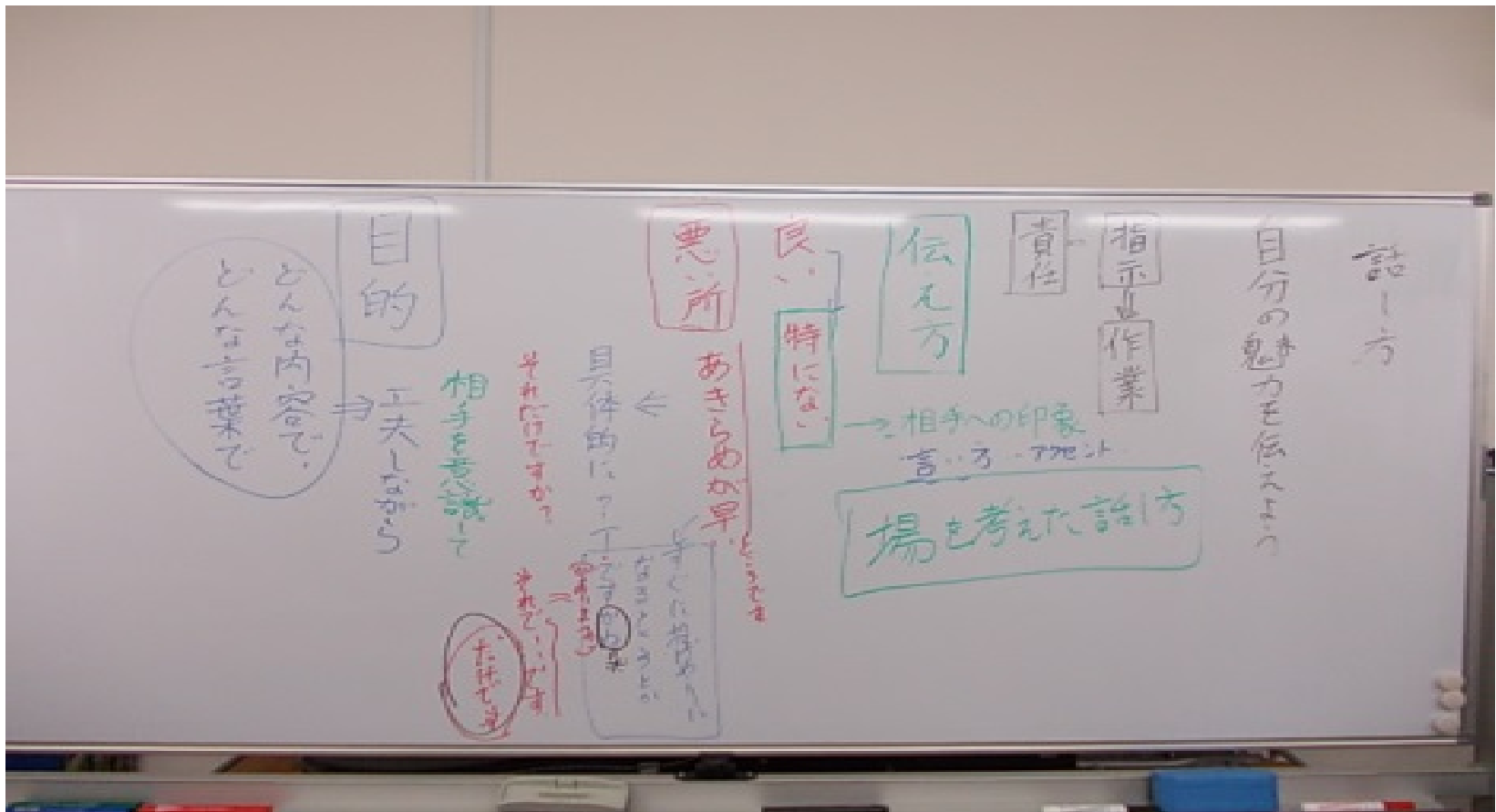
基礎 学力



- ・論理的思考の方法や分析、集計といった意識をしたものの見方考え方の育成を図り、社会生活の中で数字を意識した生活を送ることが出来るようになることを狙いとする。
- ・数と「式、量と測定、数量関係」の3領域に絞って学習を進める。
- ・個別の学力に差がある為、スモールステップを活用した学習を実施する。

数学

資料：国語の授業（話し方～自分の魅力を伝える練習をしよう～）



周囲の人だけでなく、自分の事にも関心が持てないNさんでしたが、国語の授業を通して、考えを言葉にし自分の性格や特性をよく知ることができました。このような授業を繰り返し行ったことで、「分かりません」「別に」「興味ないです」といった口癖が減り、答える前に少し考え、**就労先での指導を受け入れる素地を作り出しました。**

資料：数学の授業 (携帯電話各社の通話料金比較～A社とB社、どちらがお得か～)

ある電話会社には、次のようなプランがあります。

	月額基本使用料	1分ごとの通話料
Aプラン	3500円	30円
Bプラン	2000円	40円

問 1ヶ月に何分通話するとAプラン、Bプランの使用料が等しくなるか？

1ヶ月の使用料 = 月額基本使用料 + 1分ごとの通話料 × 通話時間

$3500 = 30x + 3500$
 $2000 = 40x + 2000$

$3500 - 2000 = 1500$
 $40 - 30 = 10$
 $1500 \div 10 = 150$

150分

2時間 = 120分

150分 > 120分

1ヶ月に何分通話するとCプランが一番お得か？

プラン	月額基本料	1分ごとの通話料
Cプラン	9500円	0円

1ヶ月に何分通話するとCプランが一番お得か？

機種代が安いからとスマートフォンを購入した塾生が「電話代があまり安くないんです。」という言葉をごぼしていたのを聞いてこのような授業を展開しました。多くの塾生が目の前の支払額が高いか安いかで判断し買い物をする傾向があります。長く使える物はどちらなのか。今だけ欲しいものなのか、または必要なものなのか、数学の授業を通して、**金銭指導が入りやすい受け皿の心を育て、金銭の指導へつなげました。**

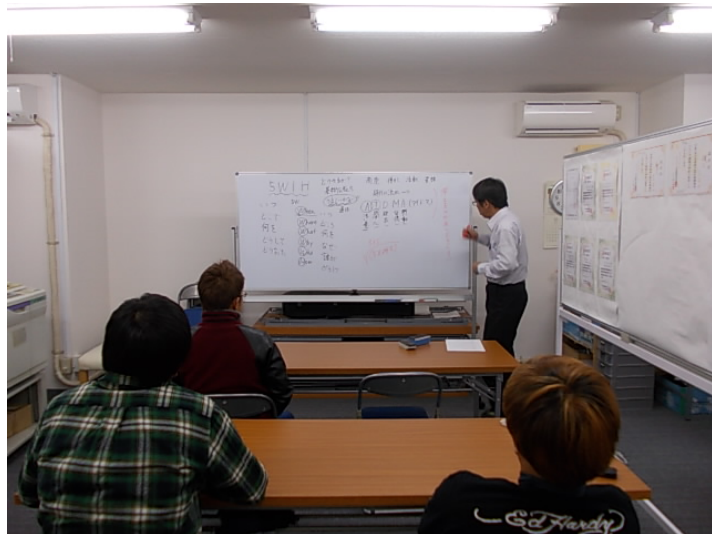
3. カリキュラム例

食育

- ・より実生活に活用できる教材を選定し、実技を重視した学習を行う
- ・栄養、経費、調理の工夫を学習することにより、安易な食生活を見直すとともに自己の生活を見直すきっかけづくりを狙いとする。



生活改善



- ・自己の金銭感覚の見直しを図ることを狙いとする
- ・学習内容を日々の生活の中で実践し、社会的自立をした時の実践力を身につけさせる

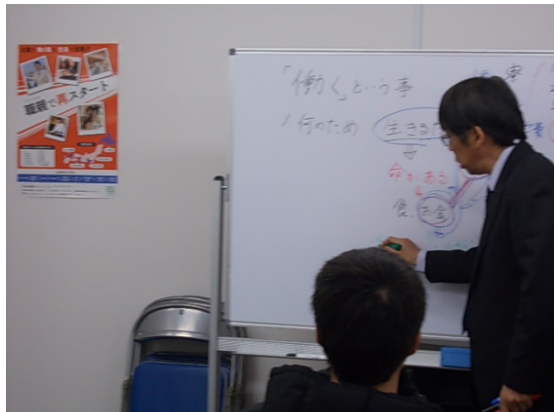
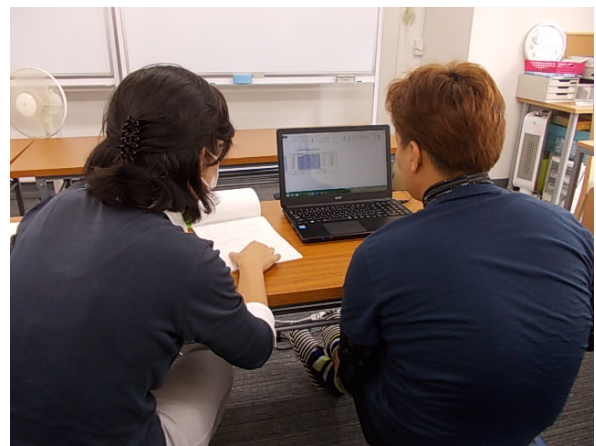
金銭

3. カリキュラム例

資格
取得

情報

- ・文書デザイン及び表計算の技術取得（本人希望による資格取得を含む）を目指す
- ・学習形態をドリル学習ではなく。調べ学習や自学の手法を取り入れた学習形態をとることで「学ぶ意欲の向上」とともに「学び方」の学習を狙いとする



- ・規範意識、社会性、公共性等社会生活に必要な資質の向上を狙いとして、身近なことを教材化（生活、時事、格言など）し、学習をすすめる
- ・生活指導、進路指導の観点から、自立に向けた心の教育を行う。

キャリア

道徳
進路